

第1回成田国際空港都市づくり推進会議 (2008年1月30日)



・第2回推進会議にてNAAに対し容量拡大について説明を要請(2月25日)

発着回数30万回のポテンシャルを説明 (3月25日)



・第3回推進会議で、NAAから『成田空港の容量拡大の方向と可能性について』を30万回と説明

「推進会議」(プラス面の効果を検討)及び「四者協議会」(マイナス面の影響を検討)においてプラス・マイナスの両面から検討

地域と容量拡大の検討について合意 (2009年1月23日)



・四者協議会(国・県・市町・NAA)で『成田空港の更なる容量拡大の検討に当たっての確認書』を締結

空港施設面からの課題等について (2009年7月29日)



- (1) 空港容量拡大に向けた検討状況について
- (2) 空港施設面からの課題について
- (3) 環境対策・地域共生策の方向性について

地域との協議

・今後、航空局が飛行コースを作成し、それを受けNAAが30万回を前提に予測騒音コンターを作成し地域に提示し協議

空港容量拡大について合意

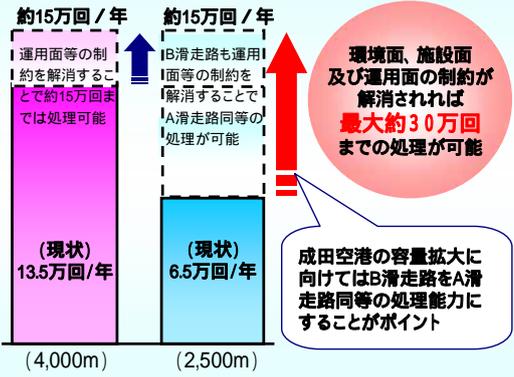
政府は、容量拡大に向けたNAAへの取り組みについて支援するとともに、地元の理解と協力を得つつ検討を進めることを2009年3月31日に閣議決定。

成田国際空港都市づくり推進会議

成田国際空港周辺9市町が「国際空港都市づくり」を目指して、交通インフラ整備、交流促進、産業集積、住みよいまちづくり等の取り組みを連携して推進していくために設置



成田空港のポテンシャル - 最大処理能力の可能性 -



- アライアンス毎に使用ターミナルを設定し、お客様及び航空会社の利便性を向上。
- 最新の設備を導入し、国際的に求められている高いセキュリティレベルを確保。
- 国内線から国際線への専用乗継施設を設置し、乗継時間短縮を短縮。
- 免税ブランドモールの充実や制限エリア内へのATM(現金自動預払機)の設置等、お客様利便を向上。
- 「ビジットジャパンキャンペーン」を積極的に展開し、外国からのお客様を歓迎。

免税店の充実

narita | nskamise

第2旅客ターミナルビル

one world

高いセキュリティレベルとお客様利便の向上

高性能爆発物探査装置

北ウイング
南ウイング

STAR ALLIANCE

ターミナル内の演出

Welcome to Japan

【内線乗継施設】

| | |
|-----------|------|
| 第1ビル(国内線) | 国際線 |
| 最大動線720m | 180m |
| 第2ビル(国内線) | 国際線 |
| 最大動線980m | 150m |

- 「日本」という魅力的かつ豊富な観光資源の情報を空港を基点に発信。



Narita International Airport Corporation
All Rights Reserved.

NAAは、お客様が多くの空港の中から「成田空港」を選択していただけるよう、空港自体の魅力をさらに**POWER UP**して参ります。

内と外のアクセスの充実

- 国際線と国内線が同一のターミナル内で乗り継ぎ可能。
- 都心と空港間を30分台で結び、世界主要空港と遜色ないアクセスレベル。
- これらのメリットを最大限に活用するためには、空港内の移動時間の短縮を図り、駅到着から航空機への搭乗までの間をより**スピーディ**に！

ネットワークの更なる強化

- 特に米国路線を中心とする成田空港の豊富な国際線ネットワークの充実は、我が国の国際競争力強化の点からも重要。
- 更なるネットワーク網強化のため、世界規模で行われる商談会への参加など「**エアポートセールス**」を今後より積極的に展開。
- また、国内フィーダー路線の充実のため、国内航空会社には成田への更なる乗り入れを熱望。

お客様利便の更なる向上

- CS(お客様満足)活動のひとつとして、お客様への高品質なサービスの提供を含めた**新しいCS戦略**を模索。
- あらゆるお客様が同一のサービスを受けることが出来るよう、例えば、最先端のIT技術を駆使し、バリア(障壁)をなくすようなサービスを展開。
- お客様が「**安全・安心**」を実感できることを第一とした運用に加え、エコ・エアポートとして環境にやさしい、アジアのNo1ゲートウェイを目指す。

Narita International Airport Corporation
All Rights Reserved.

